

## 第三者意見



株式会社八戸インテリジェントプラザ  
常務取締役所長  
松坂 洋司 様

大平洋金属株式会社（以下、大平洋金属）「環境・社会報告書2016」で開示されている内容に対しての、第三者の見地から下記の通り重要な項目や、記載内容についての意見です。今後の事業運営並びに各種取り組みの参考になれば幸いです。

### トップメッセージ

なぜ「新中期経営計画PAMCO-30」の策定が必要なのか、企業価値の向上に向け今後何を強化して実行していくのか等が明確に表現され、トップの強い決意を感じます。

### 新中期経営計画PAMCO-30の策定

ターゲットに向けた成長実践過程や具体的な施策も明記されていますが、第三者から見ると「前中期経営計画PAMCO-27」と「新中期経営計画PAMCO-30」ではどの部分が新しい施策なのか、どの施策が前中期経営計画の施策を引き継いでいるのかが、容易に判断できないような感じがします。

### 技術伝承と人材育成

「人材を確保できるかどうか、その企業の存続に直結する」とも言われている時代ですが、技術の伝承に積極的に取り組んでいる様子が、実際の現場の“教える側”、“受ける側”を主に紹介され好印象を受けました。

### 環境に配慮した製造プロセス 環境に貢献するサービス 環境負荷の少ないエコ商品

「総合力世界トップクラスのフェロニッケルメーカー」を目指す企業の意気込みが感じられ、分かりやすく環境に配慮した製造プロセスや環境貢献サービス、エコ商品が紹介されています。後に紹介している「統合マネジメントシステム」の環境要求事項への対応であることを、もっと全面に出しても良いのではないかと感じました。

### 株式会社八戸インテリジェントプラザの紹介

株式会社八戸インテリジェントプラザは、平成元年5月に地域振興整備公団（当時）、関係自治体及び地域企業で設立された第三セクターです。地域産業支援の拠点となるため産学官連携のもとに、研究開発支援・人材育成・交流促進・情報提供等を通して豊かな地域社会の形成、地域産業の高度化への取り組みを進めています。



所在地 〒039-2245  
青森県八戸市北インター工業団地1丁目4番43号

事業概要 研究開発事業 研究開発支援事業 人材育成事業  
調査受託事業 情報提供事業 交流促進事業  
テナント賃貸業

### コーポレートガバナンス

大平洋金属の企業価値の向上を目指すために、コーポレートガバナンス体制が明確に表されています。体制の役割を適正に遂行し、もし課題やリスクがあれば今後、積極的な開示と対応展開を希望します。

### 統合マネジメントシステム

統合マネジメントシステムについて、IMS体制、各取り組み、そして目標の達成状況が紹介されています。「新中期経営計画PAMCO-30」における目標達成のツールとしての位置づけですので、しっかりと対応をして、成果有るアウトプットを希望します。

### IMS目標と達成状況 品質管理の取り組み 環境負荷低減の取り組み

目標の達成状況で定量的な判断が可能な項目は積極的に数字にて報告した方が分かりやすいと感じました。また成果の取り組みについての掲載ページに、達成状況にリンクした具体的な取り組み内容の掲載が少ないように感じました。

### 地域社会とのコミュニケーション 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

地域との多種なつながりが記載され好事例も多く、意識の高さを感じました。今後は活動の評価、顧客満足度の公開も希望します。

### 従業員とともに

労働安全衛生活動、衛生活動もIMS活動として統括的な取り組みが見られます。再発防止対策としての「ヒヤリハット活動」や職場内の「改善提案制度」についても掲載を希望します。

### まとめ

本報告書は会社の経営計画を明確にし、目指すゴールへ具体的な施策が記載され、その意気込みが感じられます。また、統合マネジメントシステム（IMS）の運用による品質、環境、安全管理の取り組みも充実しています。加えて記載内容にCSRの記載の充実を望みます。

他社の報告書も「CSR報告書」として中期経営計画の進捗状況、CSR、環境、コミュニケーション、コーポレートガバナンスを盛り込む報告書が多くなっています。今後はCSR報告書への統合の検討も希望します。

## 第三者意見を受けて



上席執行役員  
品質・環境管理室長  
猪股 吉晴

松坂洋司常務取締役所長におかれましては、お忙しい中、当社の「環境・社会報告書2016」に第三者意見をご寄稿頂き深く感謝いたします。

本環境社会報告書の各項目内容に対してお褒めの評価を賜り誠にありがとうございます。

一方、環境、品質、労働安全衛生、コミュニケーション、及びCSR等に関して数々のご提案がありましたので真摯に受け止め、ご期待に添えるように改善してまいります。

今後の統合マネジメントシステムに関しましては、ISO9001：2015年版及びISO14001：2015年版の規格への移行、並びにOHSAS18001においてはISO45001の新規格への移行を進め、より経営計画と連動した活動の推進を行い、利害関係者のニーズ及びご期待に添えるように努力していきたいと考えております。